



運動会、ありがとうございました。当日までは、何回もアリーナに行って、走ったり踊ったり。広いアリーナで、のびのびと体を動かしました。

満三歳児のお友だち・年少さんにとって初めの運動会。実際経験してみて「これが運動会か…」と感じた子も多くいたようです。年中・年長さんは、待ちに待った運動会。先輩たちがやっていたことを、自分たちができることに喜びを感じ、さらに、アイデアを加えながら…。【自分たちの運動会】になったのではと思います。

運動会後、たんぽぽ組・年少さんは、「今日も運動会しよう」と、下園庭に降り年長さんや年中さんに交じってポンポンや玉入れ、リレーをしました。年中・年長さんは、ポンポンやバルーンを取り足取り(笑)自信満々に教えてあげる姿がありました。運動会までの取り組み、運動会、そして運動会後の体験が、遊びとして、また園文化として、次年度につながっていくといいなと感じています。

運動会アンケートのご協力ありがとうございました。いただいた各学年のコメントを、抜粋してご紹介します。運動会の運営、内容についてのご意見は、次年度の参考にさせていただきます。

たんぽぽ組

ある日突然、「石の術」「まるまるの術」をおうちで使うようになったので、なんだろうと思っていましたが、謎が解けました。年少さんたちの様子を見て、真似していたんですね。当日は、おばけにんじゃも一緒に踊っていて、目で見て、たくさん吸収しているのだなと感じました。



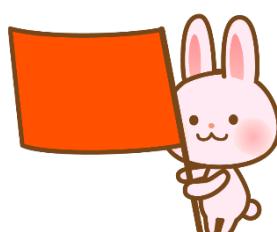
みんな、とっつても、かわいかったです♡
本人は、かけっこしたことよりも、
“おみやげをもらったこと”を喜んでいました(笑)



運動会前は、まだ何かわかっていない様子で普段通りでした。当日は、慣れない場で緊張して泣いてしまいましたが、いい経験になりました。

初めての運動会でドキドキしながらの参観でした。ホールに集合する前は、泣いてしまいましたが、かけっここの種目でたんぽぽ組が呼ばれた途端、笑顔になり、名前を呼ばれ返事をしたり、本人も楽しく参加できたようです。

「あと何回寝たら運動会?」とたずねてくるほど、運動会を楽しみにしていました。姉と兄を見てきたおかげか、イメージができていたようです。



お昼ご飯を食べた後、深~いお昼寝に入って2時間ほど寝ていました。体はあまり動かしませんでしたが(笑)たくさんお客様が入っている会場で、自分がこれからやることを想像して、頭も気持ちもパンパンになって疲れたのかなあと思いました。

年少組



まだ運動会が何なのかが、よくわからなかったためか、「楽しみだね！」とか「頑張ってね！」と家族に言われても、「？」って感じで何の反応もなし。3歳っぽくてかわいかったです。

お化け忍者を家で何度も踊っていました。また、「今日アリーナってところで走ったんだよ。ホールより広かったよ」と嬉しそうに話してくれて、広いところで思い切り走れるのが楽しかったようです。幼稚園からの帰りに、石化けの術を披露してくれたり、忍び足で歩いてみたりと、運動会の練習をしているという意識はないようで、日々の遊びとして楽しみながら、運動会につながっていったんだなというのが伝わり、素敵だなと感じました。



初めての運動会、子どもよりも親の方が楽しみにしていました。幼稚園から帰宅すると、「ママ！先生からは、お家の人に内緒って言われてるから、私のことを見ないでね」と言われており、何のことかな～?と思っていると、忍者の真似をはじめました。かわいかったので見ていたら、とても怒られてしましました。(笑)

かけっこで名前を呼ばれたら、大きな声で手をあげて返事をしている姿を見て、四月の入園式では返事ができなかつたので、とても成長を感じました。

入場の時は先生にべったりの様子で、大丈夫かなと不安でしたが、「元気玉とばせ」の踊りが始まると、ちゃんと踊っていて、頑張っている姿にうるっときました。



当日は、とても張り切って踊りを踊ったり、忍者になりきったりしていきいきと楽しむ姿が見れて、嬉しかったです。最後の親子踊りは、とても楽しそうにパパと踊っていました。笑顔いっぱいな子どもたちの姿、頑張っている姿を見て、幸せな気持ちになりました。

帰ってから、「年中組さんのバルーンがかっこ良かったな～。楽しそうだな～」「年長組さんになつたらリレーしたいな～」などと来年度以降の運動会も楽しみにしている様子が伺えました。お兄さん、お姉さんの素敵な姿を日頃からみているからこそだと思います。

年中組



昨年、年中さんがチャレンジ王国で果敢にジャンプする姿を見て、“来年、こんなことができるようになるのかしら！？信じられない！”と思ったことを覚えていました。今年は息子が、あの年中さんたちのように果敢にジャンプしていて、感激でした。きっと、来年は、今年の年長さんたちのように熱いリレーを見せてくれるのだと思うと、とても楽しみです♡

当日は、朝、ドキドキと涙で車から降りられませんでした。が、クラスの子に「一緒にやろうや～」「手をつないでパワーあげようか？」と声をかけてもらい、親からパ～～！っと、離れてきました。年中になり、お友だちとの、絆が強くなり、心の支えが、ママたちくお友だちになってきているようで、成長を感じました。



普段ははずかしがりで、あまり大勢の人の前で感情を出すことがないのですが、運動会ではすごく楽しそうに演技しているのが、とても嬉しく印象的でした。母にべったりで離れない子たちがしっかりと演技している姿に感動しました。

当日は想像していた何倍も声が大きく、何倍もやる気に満ちた姿に驚きました。1番驚いたことは、台の上からジャンプをする姿でした。家では2段から飛んだと聞いていて、3段は何回しかしたことがないと話していたので、2段からジャンプするのかと思っていたら、まさかの3段から飛んだので本番で大勢の人がいるのに、こういうこともできるようになったんだなと目頭が熱くなりました。



去年は年少で、すべての競技がかわいいな～と思いながら見させていただきましたが、今年はもちろんかわいかったですが、ひとつひとつのやるべきことがしっかり理解して、その上で走ったり、踊ったり、平均台を歩いたりしていたので、成長を感じ、嬉しくもすこし寂しくも感じました。そしてやはり、年長さんのダンスとリレーは今年も目がうるうるっとしました、子どもたちが全力で楽しんで全力で頑張って、勝っても負けても、大事なところはそこじゃないんだよ、というところを、子どもたちからしっかり教わりました。全力でやりきるって素晴らしいですね！

運動会が終わった後、やはり、「悔しかった～。あと少しで1番になれると思ったのに。めっちゃ悔しい。1番悔しい。」と言っておりました。暗い顔でした。「そうだね、悔しかったね。でもよく頑張ったね」と伝えると、「うん。オレ、めっちゃ頑張った！」と、今度はキラキラした、自信に満ちた顔。「本当に、ステキな時間てくれた、ありがとうね」と、自然とこんな言葉が出てきました。



かけっこ1番取りたいな！と言っていた通り、1番で走り抜けたこと、とても嬉しそうでした。家で練習していたバルーンも、みんなの息のあった演技に年中さんかっこいいなあとほほえれしました♡勝つために玉を4つ積んで投げる作戦だよ！と教えてくれた玉入れも、作戦通り一生懸命投げる姿がとてもかっこよかったです！！

年長組



最初は「鉄棒無理！何にもできない！」と言っていたのに、少しづつ園でお友だちがしている色々な技を見る中で、「自分もやってみたい！」と思うようになり、家で足かけまわりを練習しました。あれだけ怖いと思うとや、鉄棒にチャレンジすることが難しかったのに、ドキドキしながら頑張る姿に、とっても成長を感じたし、改めて、「お友だちの影響力！すごいなー！」と思いました。

2学期に入って、「今日もりレー勝ったよ！」「僕は〇〇色チーム」など、情報が少しづつ出る中、リレーの走順が2番であることを聞いて、つい「走るの速いんだから1番始めか、後ろの方にしたらいいのに…」と言ってしまったのですが、本人から「2番でいいんだよ！チームで勝てたんだから！」「早い順番でパッと走って、みんなを応援したいんだ」と返ってきて、[こんなにみんなのことを思ってリレーをしているんだ] [こんなに心が成長しているんだ] と、胸がいっぱいになりました。これは絶対に親が口を出してはダメだ、こんなに色々考えているなら子どもたちでとことん向き合うのが絶対いい！と思い、余計なことは言わない、ただただ全力で応援する、を徹底しようと心に誓った出来事でした。



運動会までの間、よくリレーの話をしてくれました。他の競技よりも話題に出る回数が多く、熱量の高さを感じました(笑)テレビで、ちょうど世界陸上をしており、選手が走る様子を見ては「僕はこうやって走るんよ！」と言って、家中を走り回っていました。運動会では「ライルズ(米)みたいにかっこよく走る！」と張り切っていました。

元気で来れるだけで花丸な年少さん、笑顔でいられたら花丸な年中さん、そして、仲間と協力し合って、勝負を楽しむ年長さん…と、1年1年、これほど子どもというものは成長するのかと感動した運動会でした。(中略) 大人になると、なかなか全力の一生懸命に触れる機会も少なく、「疲れない程度にのんびりやろう…」という、[ゆるい世界] が当たり前になりがちな中、久しぶりにこんなにギラギラ・キラキラした素敵な空気を感じることができました。私も若返ったような気がしました！



親として、我が子が頑張っている姿を見れただけで万々歳！それは、我が子だけでなくても同じ気持ちで、ゆり・きく関係なく、3年間、我が子と一緒に遊んでくれたお友だち全員を応援したくて、必死に名前を呼びました。みんな、よく頑張ったね！の気持ちでいっぱいです。

ずっと憧れだった年長の運動会、自信にあふれる表情、緊張しながらも堂々としていて、素敵でした。毎年大好きなりレー、年少の時からずっと知っている子たちが走る姿は、応援にも熱が入りました。こけても諦めない！負けて悔しくて涙があふれても最後まで走りきる！彼らの姿には見ている私も涙が止まらず大声で声援を送っていました。上の子から5年間、毎年運動会を見てきて、ついに今年が最後…。運動会が終わってしまうことが寂しくて…今までの思い出が次から次へとよみがえってきました。泣きながら先生に抱っこされていた子、納得いくまで何度もチャレンジした子、緊張している子に声をかけ手をつないであげていた子…勝っても負けても全力な子どもたち、毎年いろんなドラマがあって、そのたびに子どもたちからパワーをもらっていました。比治山幼稚園の運動会は、最高です！

